

1. 調査の目的

ウェットランド鳥類調査では、灰塚ダムの「知和ウェットランド」一帯に生息する鳥類について継続的に調査しています。

2. 調査の実施状況

(1) 調査の実施日

今年度の冬季調査は冬鳥の越冬期に合わせて設定しました。

調査時期	月 日
冬季	平成21年1月24日～25日

(2) 調査の方法

一定の調査地点から観測し、定点から死角になっている場所については任意に移動しながら出現した鳥を記録しました。



知和ウェットランド

調査区



朝・昼・午後は双眼鏡、望遠鏡を使って調査



夜間は主に鳴声を頼りに調査

3. 調査結果

今回の調査では、合計 11 目 23 科 51 種を確認しました。確認した鳥類種のうち、ミサゴ、ハイタカ、トモエガモの 3 種が「重要な種(※)」に指定されています。

ウェットランド内の水域では水鳥（カモ類）の種数、個体数が増えています。草地にはアオジ、カシラダカ、ジョウビタキなどといった冬鳥を確認

しました。

留鳥であるエナガとシジュウカラの混群、冬鳥であるマヒワの群れなど、鳥たちが群れて行動する様子をたくさん目にすることができました。

夜間の調査では、カワウがウェットランド内でねぐらをとる様子を確認しました。

※「重要な種」とは…学術的に、あるいは環境保全上保護すべき種のことで、種の保存法、文化財保護法、環境省のレッドリスト、広島県のレッドデータブック等に記載されている種が該当します。

■ウェットランドで冬を越す鳥たち

水鳥



ヨシガモ (1/25)
湖、川、池、内湾などに飛来します。餌を探るときはあまり潜りません。



キンクロハジロ (1/25)
湖、池、川、河口、内湾などに飛来します。水に潜って餌をとりま



オオバン (1/24)
アシなどが生える湖、池、川、水田など淡水域を好みます。上手に泳いで、水草や水生昆虫などを食べています。

陸鳥



トラツグミ (1/25)
一年中生息していますが、冬になると平地に降りてくる個体があります。草地上で餌を食べていました。

■ウェットランドで一年中見られる鳥たち



ホオジロ (1/24)
冬羽にかわっています。草地や低木林などにいます。



セグロセキレイ (1/24)
水辺を好みます。水生昆虫などを食べます。



ミサゴ (1/24)
主に魚をエサとする猛禽類です。ウェットランドを狩場に行っているようです。

■重要な種



トモエガモ (1/24)
湖、池、川などに飛来します。20羽以上の群れをなして泳いだり、木々の中で休んだりしていました。